

まちづくり交付金 事後評価シート  
安井地区

平成18年12月

京都府南丹市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	京都府	市町村名	南丹市	地区名	安井地区
計画期間	平成16年度～平成18年度	まちづくり交付金交付期間	平成16年度～平成18年度		
モニタリング実施時期		事後評価実施時期	平成18年12月	フォローアップ実施時期	

1) 事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業	安井谷線(L=600m)道路改良、五味田橋(L=31m)橋梁補修、公園整備(700㎡)、駐車場整備(A=300㎡)、緑地整備工事(A=2000㎡)、パンフレット作成、ホームページ作成・管理、モデル住宅見学会
	当初計画から変更した事業 (変更した内容)	街路灯(0基 4基) 公営住宅整備 木造平屋建3棟6戸、敷地面積1650㎡ (事業費81 88)
	変更した理由、目標・数値指標への影響等	防犯施設として街路灯を追加 (目標・数値指標への影響はなし) 住宅の仕様変更に伴う事業費増 (目標・数値指標への影響はなし)

2) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		単位	達成度			達成見込みの有無		効果発現要因 総合所見
	モニタリング	事後評価		フォローアップ	あり	なし			
指標1	小学校の児童数		人		×				定住者に小学生が少なく、当地区以外での児童減少により指標の目標達成は出来なかった。しかし安井地区では未就学児童数が増加しており、今後の児童数の着しい減少に歯止めをかけた。
指標2	モデル住宅見学者数		人/年						交通の不便さ等から見学者を確保できなかった。見学者確保の狙いとして、実際の建築に意向を示している方に対象を絞り短期の宿泊体験を実施するなど、手法を切り替え、内容の充実を図った。
指標3	「美山木の家」販売(建築)実績		棟						区画販売は目標値まで達しなかったが、提案事業活用による美山木材PRで、市外においても美山木材を使った住宅の販売を実現した。
指標4	ホームページアクセス数		件						ホームページやパンフレットが関心を高め、併せて鶴ヶ岡振興会や美山木の家ネットワークの活動が指標の改善に大きく貢献した。

3) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		数値		効果発現要因 総合所見
	モニタリング	事後評価		基準年度	フォローアップ			
	その他の数値指標1	安井地区を含む砂木区の人口		人	104	平成15年		121
その他の数値指標2	安井地区を含む小学校区における高齢化率		%	37.4	平成18年		36.7	公営住宅の建設で若い世帯が増加し、地域社会を担う力として地元へ活力をもたらした。砂木区の65歳以上高齢化率は、20.5%で美山町57集落で2番目に低く、砂木区の高齢化率抑制を果たした。
その他の数値指標3	区民の満足感		%				96.0	砂木区で実施したアンケート調査で、回答者の96.0%が事業に満足感を示し、「世帯が増え集落の活性化につながった」が48.6%、「子どもが増えてにぎやかになった」が40.0%を占め、本事業が地域の活性化に寄与したことを示した。
その他の数値指標4	消防団員の構成率		%	0.0	平成18年		40.0	非常備消防団員は年々減少しているが、砂木区においては住宅建設による若い年齢層の居住者が積極的に入団し、活躍されている。暮らしの守り手として地域から頼られる存在であり、地域防災の担い手として期待は大きい。
その他の数値指標5	雇用者数		人	0	平成16年		22	老人福祉施設の誘致により地域雇用が創出され、活性化に寄与した。また、高齢者介護の中核施設の導入で福祉の充実が図られ、誰もが安心して地域で暮らすことのできる地域づくりが進められたものである。

4) 定量的に表現できない定性的な効果発現状況	地元住民が「安井団地を考える会」や「鶴ヶ岡振興会」等の立ち上げで、課題解決に向けた地域・行政の連携した取り組みが図られ、本交付金の利点を活用しつつ特色ある地域づくりを推進することが出来た。住宅整備により居住人口が増加し、伝統の祭や非常備消防団組織等様々な地域活動の主体的な担い手として活躍され、少子高齢化が進む地域の暮らしに大きな活力をもたらした。また福祉施設の誘致で高齢者介護の新たな中核施設が実現し、高齢者が安心して暮らせる地域づくりと、地域雇用の拡大に結びついた。環境、景観、自然等地域資源を守
-------------------------	--

5) 実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング		予定どおり実施できた	予定していなかったが実施した	
住民参加プロセス		市民主体の組織によるまちづくりについての検討会議	予定したが実施しなかった・できなかった		今後も住民団体である振興会を中心に、地域の振興を画策いただく。また、美山木の振興についても住民グループである美山木の家ネットワークグループを主体に木材の振興に取り組んでいく。そのための積極的な連携とバックアップを今後も検討していく必要がある。
			予定どおり実施できた		
			予定していなかったが実施した		
持続的なまちづくり		市民と行政の連携によるまちづくり組織の構築	予定したが実施しなかった・できなかった		発足した「美山まちづくり委員会」を中心に南丹市における特長あるまちづくりという視点で定期的に論議し、美山安井地区からの情報発信を進めていく。また、美山の木材を使った住宅の建築や木材の振興については、山村地域である美山の根幹となる振興策として積極的なバックアップを行っていく。
			予定どおり構築できた		
			予定していなかったが構築した		

## 様式2-2 まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

安井地区(京都府南丹市)		まちづくり交付金の成果概要	
まちづくりの目標	豊かな自然を生かした活力ある村おこしの推進 ～日本一の田舎づくりを目指して～	まちづくり交付金の代表的成果	ホームページアクセス数 安井地区がある砂木区の人口 雇用者数
			0件(H16) 20,000人(H18) 104人(H15) 121人(H18) 0人(H16) 22人(H18)
<p><b>関連事業(ハード)</b> モデル住宅 「美山木の家」建設 ・実物広告的役割</p> <p><b>関連事業</b> 簡易水道配水池</p> <p><b>基幹事業</b> 道路 (橋梁補修)</p> <p><b>基幹事業</b> 公園</p> <p><b>関連事業</b> 防火水槽</p> <p><b>基幹事業</b> 地域生活基盤施設 (駐車場)</p> <p><b>提案事業</b> まちづくり活動推進事業 モデル住宅見学会</p> <p><b>基幹事業</b> 高質空間形成施設 (街路灯)</p> <p><b>関連事業</b> 老人福祉施設建設</p> <p><b>基幹事業</b> 道路(道路改良)</p> <p><b>関連事業</b> 敷地造成</p> <p><b>関連事業</b> 森林組合林業者住宅 (既存 6戸+作業所)</p> <p><b>基幹事業</b> 公営住宅整備</p>			
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<p><b>定住者の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農山村地域の人口減少に歯止めをかけるため、田舎暮らしの支援を掲げ定住促進に取り組む美山ふるさと(株)等と連携し、本地区を中心に住宅用整備地の販売促進を一層強化する。</li> <li>・地域の資源を守り生かすとともに、地域コミュニティ活動の推進や都市交流等を進め、住みたくなる魅力あるまちづくりを展開する。</li> </ul> <p><b>地場産業の振興発展</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低迷を続ける木材産業の厳しい現状のなか、地域ならではのブランド化を確立するため、地産地消によるこだわりの家づくりの効果や魅力を一層アピールする。</li> <li>・林業家、製材所、工務店、設計士などの連携で「顔の見えるつながり」を持つ「美山木の家ネットワーク」等市民の活動と連携し、相互の力を活用した安心の家作りを提案、特長ある施策で魅力を伝える。</li> </ul> <p><b>未整備箇所の有効活用で新たなまちづくりの可能性を探る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未整備地の有効な活用を図るとともに、自然景観や地域の伝統・文化等様々な魅力を織り込んで地域特性を引き出し団地の価値を高めていくため、市民と行政の協働した取り組みで団地を地域拠点とした新たなまちづくりを検討する。</li> </ul>		